

B & G海洋教室に小学生 20 人 マリンスポーツで海を満喫

町B & G海洋センター艇庫で、7月6日に海洋教室が開かれました。これは、水辺で安全に行動する方法やマリンスポーツの楽しさを学んでもらおうと同センターが主催したもので、町内の小学生20人が参加。潮風を浴びながらカヌーやスタンドアップパドルボードなどに親しみました。中でも人気を集めていたのは湾内を周遊するバナナボートで「ゴーゴー」と手を挙げ楽しむ子どもたちの姿が見られました。参加した飯野日仁さん(山田小6年)は「最高に楽しかったです！」と海を満喫した様子でした。



山田町土地改良区が畦畔作業 イブキジャコウソウ 2,500 本を定植

6月19日、山田町土地改良区(瀬川智宏理事長)では、上豊間根農道付近ののり面に畦畔(田畑を区切るあぜ)定植作業を行いました。当日は近隣住民ら約30人が参加し、約2,500本のイブキジャコウソウを1本1本丁寧に植えていました。これは成長するとピンク色の花を咲かせ景観がよくなることやハーブに似た香りで鹿などが近寄らないなど、作物の鳥獣被害を減らす効果が期待されます。瀬川理事長は「作物被害を減らし、景色がよくなるのはうれしいですね」と成長に期待を寄せていました。



明治安田生命保険相互会社から 町にサウンドアーチを寄贈

町と包括連携協定を結んでいる明治安田生命保険相互会社盛岡支社(有賀義昭支社長)からサウンドアーチ(電話音声聴器)1台が寄贈されました。この機器は、電話の話し手音声を聞きやすく調整するもので、難聴の人でも聞き取りやすくなるものです。7月11日、この贈呈式が町役場で行われ、佐藤町長が「難聴の人でも相談しやすい環境作りに活用します」と謝辞を述べました。寄贈された機器は、高齢者の総合相談窓口になっている長寿福祉課内の地域包括支援センター電話器に設置されます。



豊間根カヨさんが 100 歳迎える 長寿の秘訣は大声で笑うこと

7月10日に豊間根カヨさん(荒川)が100歳の誕生日を迎えられました。12日、佐藤信逸町長が自宅を訪問し、「これから元気で長生きしてください」と長寿の祝福とともに、賞状を手渡しました。豊間根さんは学校を卒業後、実家の農業を手伝い、同じ地区で製材所に勤める旦那さんと結婚。趣味は旅行で、若い頃は旦那さんと全国各地へ旅行したこともあるそうです。長寿の秘訣は「好き嫌いなく3食しっかり食べ、日頃から大声で笑うことです」とはつらつとした表情で話していました。



町のわだい

今月の題字 舛田 華果さん（豊間根小3年）

横浜F・マリノスサッカー教室 元日本代表らと交流深める

6月23日と24日の2日間、横浜F・マリノスの「ふれあいサッカー教室」が町内各所で開かれました。24日には織笠保育園を会場に開かれ、織笠保育園（佐々木久美子施設長、園児77人）や山田町第一保育所（阿部康子施設長、園児61人）、とよまねこども園（湊希施設長、園児70人）の園児ら合計46人が参加。園児らは、元日本代表で同団体アンバサダーの波戸康広さん（48）を含むコーチ陣からボールを蹴るコツや速く走る方法を学びました。最後には試合形式のミニゲームが行われ、コーチと園児らが楽しそうにボールを追いかけて交流を深める様子が見られました。



山田小3年生が漁業体験 地元養殖漁業への理解を深める

6月19日と28日に、山田町漁業就業者育成協議会（菊地敏充会長）が主催する漁業体験が行われました。これは、地元漁業への理解を深めてもらおうと行われたもので、山田小学校（佐々木哲也校長、児童448人）の3年生69人が大沢地区の荷捌所前でカキ種の挟み込み作業を体験。その後、養殖いかだに移動し、挟み込んだカキ種をいかだに吊るす様子や吊るしてから1～2年経過したカキを見学しました。海中から15号ほどに成長したカキが次々引き上げられると、児童たちは「こんなに大きくなるんだ」と驚いた様子でした。



形の部と組手の部で競い合う 空手大会で鍛錬の成果を発揮

「エイッ」「ヤーッ」と、山田町B&G海洋センター体育館に鋭く気合の入った声が響きます。6月23日、「NPO法人国際松濤館第48回岩手県空手道選手権大会」が開かれ、町内外から45人が参加しました。競技は、形の部と組手の部で競われ、選手らは気合を交えながら正しく力強い動作で技を繰り出し、日ごろの鍛錬の成果を発揮していました。小学5・6年生女子個人形の部で優勝した山根桜子さん（山田小5年）は「緊張したけど、楽しく試合をすることができました。優勝することができてうれしいです」と満足気な表情を見せていました。

